



NPO 法人 暮らしネット・えん
～第 22 回定例総会の報告～

代表理事 小島美里

回を重ねて第 22 回総会、それでも終わるとホッとするのは変わりません。2月になると、年度の振り返りを始め、次に年間計画を立てると、各事業所のミーティングから理事会まで多くの時間を費やして迎える総会ですから、気合も入ります。原稿をキッチリ用意してのぞむ人、「え～、何を言おうかな」と出たところ勝負の人、性格が出るようですが、それもまた面白い。手前みそですが、各管理者からの報告等がしっかり自分の言葉で語られていたように思いました。

2023 年度事業報告

- *2023 年度は 20 周年にあたりました。実行委員会を立ち上げ、まず年度内の 3 月に記念植樹、24 年度に向けてえん紹介の DVD を作成することになりました。完成は 24 年度中の予定です。
- *大災害時などの BCP (事業継続計画) の作成は、各事業に義務付けられていますが、6 年目になった臨時的避難所実行委員会が中心になって完成することができました。
- *介護保険報酬改定の年度。昨年の介護保険法改正を「先送り」にしたばかりなのに、今度は報酬改定。必死に声を挙げた甲斐あってこちらも先送りにして少しホッとしていたのが年末、1 月 22 日には訪問介護の基本報酬すべての減額が国から発表になりました。それから必死で撤回を求める運動をスタートしましたが、残念ながら年度内には覆すことができず、次年度に引き継ぎました。
- *懸案の世代交代は、11 月にデイホームえんの管理者、ケアプランえんは次年度から新しい管理者になりました。えん副代表でケアマネージャー兼相談支援専門員は資格更新をせず、次年度からはサポートに回ることになりました。
- *コロナが 5 類になり、久々の「みんなのコンサート」、「まどかコンサート」は大入り満員!皆さんに待たれていたのですね。

2024 年度事業計画

- *これまで培ってきたケアのスキル継承のためにも、新しい職員の獲得は喫緊の課題。他の事業所に比べれば職員の余裕がある今こそ、頑張り時です。介護に興味のある方、是非ご連絡ください。
- *2006 年開設した多機能ホームまどかは、地域の方から提供いただいた民家で、懐かしい家屋の雰囲気を利用者さんにも馴染まれてきました。しかしながらすでに築 50 年近くたち、どうすべきか今年度中に結論を出そうと思います。
- *介護保険制度の課題はずっとお伝えしてきましたが、このままでは在宅介護が危ういのではという危機的状況です。介護の問題は、高齢者だけでなく、子や孫にも影響を及ぼします。また、団塊ジュニアは数十年後には必ず高齢者になることを踏まえ、多くの人々に介護制度の危機が届くよう工夫をしたいと思えます。